



2021年2月9日

各位

会社名 千代田化工建設株式会社
代表者名 代表取締役社長 山東 理二
(コード番号 6366 東証第二部)
問合せ先 IR・広報・CSR部長 中村 薫
(TEL 045-225-7734)

カタール国 North Field East (NFE) LNG 輸出基地(新規液化天然ガスプラント)の 設計、調達、建設 (EPC) 業務を受注

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、代表取締役社長:山東 理二、以下「当社」)は、仏国 Technip Energies 社(本社:フランス、President and CEO: Arnaud Pieton 氏)と共同で、カタール国営石油会社であるカタールペトロリアム社(本社:ドーハ、President and CEO: Saad Sherida Al-Kaabi 氏、以下「QP 社」)が、同国ラスラファン工業団地内にて計画する NFE 液化天然ガス(以下「LNG」)輸出基地(新規液化天然ガスプラント、以下「本案件」)に関する設計、調達、建設及び試運転(以下「EPC」)業務を受注いたしましたので、お知らせいたします。

本案件は、世界最大の単一ガス田であるカタール ノースフィールドガス田の東部から新たに生産される日量約 60 億立方フィートの天然ガスを液化処理するために、年産 3,200 万トン(800 万トン×4 系列)の LNG プラントおよび付帯設備の EPC 業務を行うものです。また、温室効果ガスを既存 LNG プラント比 25%以上削減する二酸化炭素回収・貯留設備も含まれています。

本案件の遂行によりカタールは、LNG 生産量を現在の年産 7,700 万トンから年産 1 億 1,000 万トンに増産可能となります。

当社は 1970 年代からカタールで石油・石油化学・ガス及び水処理設備等の多岐にわたる分野でプラント建設に従事し、カタールで建設された LNG プラント 14 系列の全てに携わり、内 12 系列の EPC 業務を遂行してきました。加えて、2018 年から本案件の基本設計 (FEED) 業務を遂行しました。これまで当社は、カタールの現地グループ企業である千代田アルマナエンジニアリング社とともに、現地顧客に対して 100 件を超えるプロジェクトを遂行しています。本受注は、こうしたカタールにおける当社の絶え間ない貢献と実績が評価されたものです。

《千代田アルマナエンジニアリング社》

当社と現地企業のアルマナグループが 2008 年に設立した、当社 49%出資の連結子会社

《Technip Energies 社について》

Technip Energies 社はエネルギー分野において世界 50 か国以上で技術・設計・建設サービスを提供した実績があり、全世界に 1 万 5,000 人の従業員を擁する企業です。

以上